

第11回 科学部交流発表会 ～Science Club Assembly～

日時：令和5年11月5日（日）9：30～15：20 場所：千葉市教育センター

市内中学校科学部員66名が参加しました。



教育委員さんも3名、応援に来てくださいました

参加校・人数
新宿中：13名
都賀中：21名
打瀬中：20名
千葉大附属中：12名
合計66名

第1部 部活動紹介



科学部の人数や活動日、活動内容などを紹介しました。部内での研究活動の他、生物飼育や火星ローバーの作成、文化祭での取り組みなど、学校毎に違った特色がありました。今後の活動の参考にしてほしいと思います。

第2部 研究報告(研究発表部門)



「お風呂のお湯が冷めるから早く入りなさい」って言われたことありませんか？



マンゴムシを育てるグループ



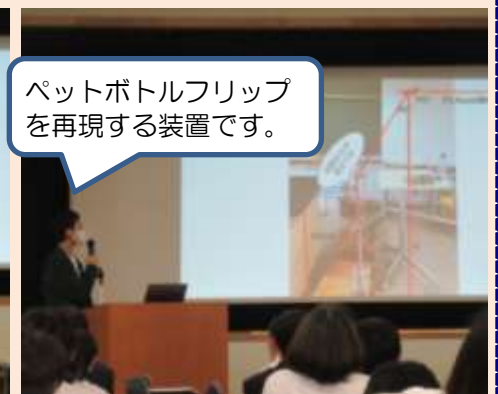
結晶のようすを比較しました。



先行研究・前提知識



この動画でコーンの対流の様子を見てください。



ペットボトルフリップを再現する装置です。

研究発表部門では、6つのテーマについて発表がありました。パワーポイントを使い、聞く側にできるだけわかりやすく、写真やグラフが工夫されていました。実験の様子や結果を動画で説明する班もありました。発表後は、それぞれの研究について、たくさんの生徒が質問する姿が見られました。

第3部 研究報告(火星ローバー部門)



親機と子機を作成しました。



アームで挟んでサンプルを回収します。

10台の火星ローバーの発表がありました。動作性能の向上やサンプル回収の仕組みなど、それぞれが工夫した点を説明しました。今回発表のあったローバーは、12月2日(土)の火星ローバーコンテストにも出場する予定です。

閉会式・表彰式



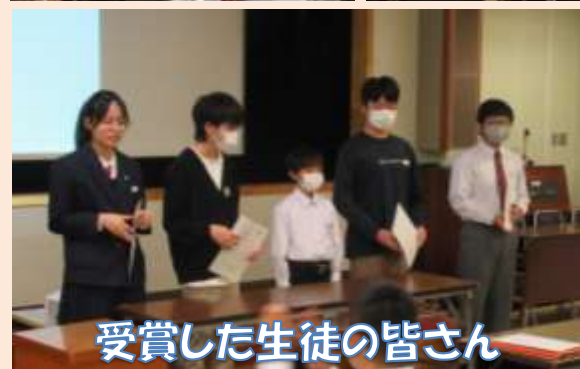
各校の代表からひと言



皆さんの発表を聞き、たくさんの刺激を受けました。



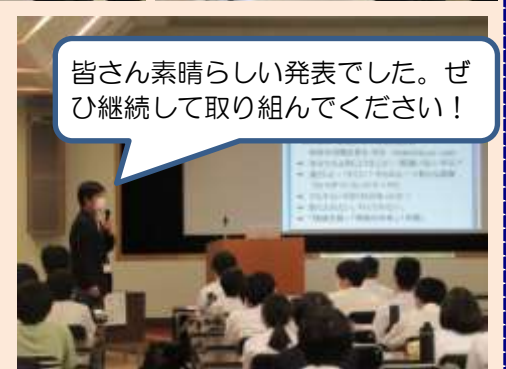
表彰式の様子



受賞した生徒の皆さん



千葉市科学館
山口副館長



皆さん素晴らしい発表でした。ぜひ継続して取り組んでください！

【参加者の感想】(抜粋)

- 様々な人達の発想、実験方法、工夫点など多くの参考にできる点がありよい学びになりました。火星ローバーでは同じ目的でも、形状、作戦、工夫点が全く違って、それぞれの個性が輝いていると感じました。今回、学んだことを今後の部活動に生かしていきたいと思います。
- 他の中学校のローバーが見られて、自分たちのローバーの改善点がよくわかりました。今後も他の人からの意見も取り入れて、よりよいローバーを作っていきたいと思います。また、今はやっていないけど、部活動の中で、実験とかをやりたいと思うようになりました。
- 色々な学校の発表を聞いたり質問をしあったりして科学に対する考えが深まりました。他の学校の発表を聞いて新たな考えができました。とても楽しかったです。
- 他の学校の発表を聞いて、どの発表もテーマが面白く、スライドに写真、動画、グラフなどを活用していてとてもわかりやすかったです。次回のアSEMBリでは他の学校のを参考にして発表をよりよくしたいです。
- 自分たちが調べないようなことを、他校の人が調べていて驚いたし、こんな結果になるのだと知り、とても楽しかったです。実験のレベル、部活のレベルが高くて驚きました。身近なことを実験にしたり、植物の消化について実験したりしていてすごいと思いました。来年も頑張りたいです。